

議事（4）「災害対策について」

災害が発生した際の対策

・予備電源を確保している（携帯発電機等）	【松戸市障害者団体連絡会】
・避難訓練など非常時のシミュレーションをしている	【松戸市障害者団体連絡会】
・非常食・飲料水を常備している	【松戸市障害者団体連絡会、松戸市はつらつクラブ連合会】
・数日分の医薬品等を準備している	【松戸市障害者団体連絡会】
・ラジオなどの情報収集手段を確保している	【松戸市障害者団体連絡会、松戸市はつらつクラブ連合会】
・避難場所を把握している	【松戸市障害者団体連絡会、松戸市はつらつクラブ連合会】
・誘導経路を把握・想定している	【松戸市障害者団体連絡会、松戸市はつらつクラブ連合会】
・その他（下記にご自由にご記入ください）	

【松戸市障害者団体連絡協議会】

- ・息子に身体、知的の両方に重い障害があるため、薬、おむつ、介護食は常に多めに用意している。
- ・避難行動要支援者名簿に登録している。
- ・町長さんにも、災害時に避難ができないかもしれない、様子を見に来てほしいと伝えている。

【松戸市PTA連絡協議会】

- ・PTA協議会に所属している学校とは防災備蓄に関する情報共有をしている。
- ・主にPTA会費で児童生徒の防災備蓄をしている学校もある。

(長期保存の水やクッキーなど)

課題に感じていること（自由記載）

【松戸市障害者団体連絡協議会】

- ・発災時、避難所への避難はできないだろうと思っている。対策は在宅避難を想定している。
(夫が単身赴任中であり、車いすと大量の必要物品を一人で徒歩で運べないため)
- ・家にいられなくなった時はのことは、ほとんど考えられていない。
- ・物理的に避難の身体障害者や、新しい環境が苦手な知的障害者には避難所で過ごすことはハーダルがが高いと思っている。

【聖徳大学短期大学部】

- ・避難所へすぐにいけない場合の対応と判断

【松戸市はつらつクラブ連合会】

- ・昨今の異常気象による各所の災害は、たまたま松戸市に来ていないだけだと認識している。
- ・様々な啓蒙活動があってもいざというときには、何も役立たないような気がする。
- ・高齢者にとっては立ち直ることができないようなことも多々感じている。
- ・河川をはじめとしたインフラの点検を十分に行ってほしい。
- ・町会、自治会や社会福祉協議会の指導制の強化は必須と思われるが、日常における取組姿勢が弱いと感じる。

【松戸市PTA連絡協議会】

- ・避難所運営委員会が全学校に立ち上るとよいのではないか。
- ・学校や地域主体で行っている避難所運営訓練なども、定期的にできるとよいのではないか
- ・共働きの家庭も多くなり、すぐに保護者が引き取りに行かれる家庭ばかりではないと思うので、PTAのあるなしに問わらず、学校に備蓄がある環境が整うと安心だと思う。